

# 3年生 国語の学習の進め方

## 通知票の見方

○五つの評価の観点、ABCの目安は次の通りです。

A…とても良くできる B…まずまずできる C…一層の努力が必要

### ①関心・意欲・態度

国語の学習に関心を持ち、前向きに頑張ろうとする態度。

指示されたことに対する取り組み方、提出物、漢字、授業中の挙手や発言などをもとに評価します。

授業態度なども反映します。発言や集中度、自己評価カード、私語など。

### ②話すこと・聞くこと

自分の考えをわかりやすく伝えたり、他人の話を正しく聞き取る能力。

授業での発表会や発言、それに対しての聞く態度などで評価します。

授業態度なども反映します。発言や集中度、自己評価カード、私語など。

### ③書くこと

自分の考えをわかりやすく文章に書く能力。

作文や、授業中に書いた様々な文章・授業での学習プリントなどで評価します。

### ④読むこと

文章に書かれていることを正しく読み取ったり、人物の心情や筆者の思いに迫ったりする能力。

おもにテストの読み取り問題で評価します。授業中の質問に対する答えでも評価します。

### ⑤言語事項

言語に関する事項（漢字の読み書き、語句の知識、文法事項、書写の能力）に対する能力。

漢字の読み書きや文法事項はテストなどで評価します。書写は硬筆や毛筆の作品で評価します。

○五段階の評定は、このABCを元に算出します。Aを2点、Bを1点、Cを0点として、合計が9以上は5、8・7は4、6・5・4は3、3・2は2、1以下は1が基準になります。

## 1学期の学習

### 第1単元 深まる学びへ

○「春に」「握手」では1年間の見通しを持ち、詩を読んでそれに対する自分の考えをもったり、小説を読んで人の生き方について学びます。

○「漢字を確認しよう」は、この教科書で随所に出てきます。しっかりと覚えましょう。また、「季節のしおり」が季節ごとに出てきます。季節に関連するさまざまなジャンルの作品を読み日本文化に親しみましょう。

○「学びて時にこれを習ふ ―『論語』から」孔子のものの見方・考え方を学習します。

○「社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする」では相手や目的に応じたスピーチをすることに挑戦しましょう。

○書写 行書と仮名を調和させて書こう 行書、特に平仮名の書き方について学びます。また、硬筆展に取り組みます。

○「漢字1 熟語の読み方」重箱読みと湯桶読みを理解してもらいます。

### 第2単元 視野を広げて

○「月の起源を探る」語句に注意し、図を参考にしながら論理の展開の仕方を理解し文章全体を捉えます。

○「漢字を確認しよう」

○「魅力的な紙面を作ろう」で、さまざまな形態の文章や写真などの素材を組み合わせて、紙面構成を工夫し、修学旅行記を編集してもらいます。

○「言葉1 和語・漢語・外来語」では、それぞれの性質や特徴を理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けられるようにしましょう。

### 第3単元 言葉を見つめる

- 「俳句の可能性」「俳句を味わう」俳句の表現の深さを読み味わいます。俳句の特徴と約束事は必ず理解してください。
- 「豊かな言葉 言葉を選ぼう」自分の考えを相手に分かりやすく伝えるためには、世代や地域による言葉の違いについて注意しながら、言葉や敬語を適切に使っていかなければならないことを理解してもらうことが目標です。
- 「批評」の言葉をためる 「批評すること」の意味を考え、言葉をためる意義と国語学習の意義について考えてもらいます。
- 「文法への扉1」日常生活で誤解が生じる原因の一つとして、文法的な観点から原因を考え、自分の表現に役立ててもらいます。
- 「読書生活を豊かに 一名作を味わう」
- 「高瀬舟」
- 読書活動 未来の私にお薦めの本
- 読書案内 本の世界を広げよう  
さまざまな種類の本を知り、読書を生活に役立て、自分の向上のためにさまざまな作品や文章を読みます。

## 2学期の学習

### 第4単元 状況の中で

- 「挨拶一原爆の写真によせて」 詩の主題を考えます。
- 「故郷」 人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら読み、社会と人間のかかわりを考えます。
- 「推敲して文章を整える」 推敲することの意義を確認し、積極的に推敲するように実際に課題文を推敲してもらいます。
- 「言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語」教科書だけでなく、国語便覧の該当するページも見ていきます。
- 「漢字2 漢字の造語力」
- 「季節のしおり 秋」

### 第5単元 いにしえの心と語らう

- 「音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序」 仮名遣いに注意して音読し、言葉の響きや調子を味わう学習です。
- 「君待つと 一万葉・古今・新古今」 和歌に描かれた昔の人の思いや情景を読み取る。和歌・短歌について学ぶ。
- 『夏草 ―「おくの細道」から』 文語文の表現の仕方や文体の特徴に注意して読み味わう。
- 「古典を心の中に」 古典の学習のまとめとして、古人の感性について考えてもらいます。

### 第6単元 論旨を捉えて

- 「作られた『物語』を超えて」 筆者の主張を捉え、人間や社会について考えを深めます。
- 「話し合って提案をまとめよう」 互いの意見文を読み合い、話し合い、それをまとめて発表します。
- 「説得力のある文章を書こう」 意見文を書きます。
- 「初恋」 文語の響きや定型詩のリズムを味わって朗読します。
- 「文法への扉2『ない』の違いがわからない?」「ない」という単語も文法的に違うものが
- 読書に親しむ一世界の中で 「エルサルバドルの少女ヘスース」  
読書案内 本の世界を広げよう
- 「季節のしおり 冬」
- 「書写 書き初めの取り組み」

## 3学期の学習

### 第7単元 未来へ向かって

- 「誰かの代わりに」「わたしを束ねないで」 さまざまな文章を読み、人間、社会などについて考えを深め、今後の人生に活かせるようにしたいと思います。
- 漢字3 「漢字のまとめ」
- 「3年間の歩みを編集しよう。」3年間の学習を振り返り、学習の記録をもとに、ポートフォリオ編集します。卒業文集も書きたいと思います。
- その他 学習プリントに取り組む。